

# 令和3年度 第1回・研究授業 6年1組 社会

日 時:令和3年5月19日(水) 13:45-14:30

場 所:本校体育館

指導者:6年1組・担任 N. N.主任教諭

单元名:日本の歴史 ~ 国づくりへの歩み

講 師:前文部科学省視学官、国土舘大学教授 澤井陽介先生

【シンキング・サイクル:課題設定】 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確認  
二つの時代の生活の仕方を具体的に調べる。

【社会科の見方・考え方】 「衣・食・住」の観点から比べる

前回は、2枚の絵を見て縄文時代と弥生時代の違いについて考えました。今日は、縄文時代と弥生時代、どちらの時代で生活したいか考えてみましょう。



ロイロノートに資料はたくさん用意してあります。  
二つの時代を比べて、どちらで住みたいか考えるとしたら、何が皆さんにとって重要ですか？



シンキング・サイクル:【情報収集】



○資料を見て、必要な情報を収集する。

○「衣・食・住」の観点から、二つの時代の生活の仕方について調べる。

【シンキング・サイクル:整理・分析】

○調べた内容を見てわかりやすいように記録する。(ノートの工夫 「表」にまとめる)

では、どちらの時代で生活したいか考えましょう。ロイロノートで、縄文時代は黄色、弥生時代は水色の付箋を使って、まとめましょう。選んだ理由も分かるように書いてください。

ロイロノートの付箋を使ってまとめたものを全員で共有できるようにする。

付箋の色が異なるため、スクリーンに映し出されたものを見て、一目でどちらが多いか判断できる。



【シンキング・サイクル:まとめ・表現】

それぞれの時代の、特徴的な生活の仕方をまとめながら、自分ならどちらの時代で生活してみたいかを発表する。





みんなの意見から、縄文と比べて弥生の方が、住居がよくなったり、米作りが始まり、食生活が変わったり、道具が進化したりしていることが分かりましたね。でも、縄文の時の方が、人々の争いなどは少なくて住みやすいと思った人もいたようです。



### 【研究協議】

- 資料が多く、時間が足りなくなりました。
- めあて(学習問題)がよくなかったのでは？
- 単元の学習問題がはっきりしなかった。
- 「調べる」(情報収集) 焦点化した方がよかったのでは？



13:45~ (目標) 縄文と弥生の生活について考えたことを表現する。 2021.5.19 墨田区立若葉高 中野(1) (体育館)

T. 弥生時代の生活の特徴を挙げよう。縄文と比べ、今の生活と比べ、もっと詳しく、なぜ感があった。(当時の文化)

縄文時代と弥生時代、どちらの時代で生活したいか答える。 さすがに唐突感!! もう少し流水に乗せないとやがて水感 (考えたいと思っていない状態)

① 選ぶ時に何が大事? ② 食料、家、火、木水 → 倉庫衣 石の地 弥生圧勝では? 「この時代で生活したい」と提出を。

T. ロイノートに資料を渡ったのでノート、ノトにまとめる → 縄文にマーク、弥生は水色のマークに貼って。この時代で生活したい」と提出を。

(タブレットで調べる子供たち) ① 調べたことは、ノトに比べながら書いていく方がいい? ② 社会科の問題解決① 確めたい情報 → 思考 → 判断 必要のものを整理してまとめる

① 調べたこと、ノトに比べながら書いていく方がいい? ② 社会科の問題解決② 子集に以て調べる事項を焦点化するよい

資料 → 一次情報 → 二次情報 → 価値 → 判断 (特色、意味、思考、意見)

14:20~ (ロイノートで提出が始まる) 二項対立の場合、ロイノートの活用は興味深い。社会科は議論が大切 → 「AかBか」「その理由の一番は」など 情報を絞って一覧にするとよい

T. 発表してください。 ② 弥生: 食料の割合が近く、身の差が大きいから。少し豪華な物が食べれる。服がよれやれ、食料多い、水が使われ便利にノトに家があるから。道具があるから鉄(前庭や狩り地味)やマドがある米もある。

T. 圧力的に弥生はね、食料の割合とお米が 道具では金属が下ぎは 古代の? 道具が進化しているのはなぜだろう。倉庫も出てきているみたい。どうやらくらしが違ってきているみたい。でも争いもあるみたい? これらのことを子供がまとめるようにしたい!! 身の差も?

(澤井先生の授業記録)



- 「調べる」必然性を引き出したかった。
- もやもや感を出して「調べたい!」という意欲を引き出す。「問いをもって事象に迫っていく」
- 学習問題に対して、「予想」をもたせないと、ただの資料の丸読みで、「情報収集」にならない。予想を立てさせて、焦点化させる事が必要。
- 一次情報だけでは比べられない。二次情報が大切。ここが「整理・分析」の部分。
- 社会科は、「考えて判断する」教科。「読み取って

判断する」のは国語。

- 社会科は議論が重要。ロイノートの効果的な活用を。
- 同じ教材(題材)を扱っても、その教科特有の「見方・考え方」によって、それぞれの教科の学習になる。
- そのため「資料の工夫」、そして「問いの工夫」が重要。

